

第9回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

- 1 開催日時 令和5年6月26日(月) 午前10時00分～
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3・4
- 3 出席者
名古屋市立大学 特任教授 鈴木賢一 (会長)
愛知工業大学工学部 教授 鈴木森晶 (副会長)
愛知教育大学教育学部 教授 風岡 治
愛知学泉大学家政学部 教授 前田 治
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長 池山和徳
豊山中学校 校長 篠田弘男
豊山町議会 議長 坪井孝仁
豊山中学校PTA会長 保科秀賢

事務局
教育長 北川昌宏
教育委員会事務局長 安藤憲司
教育参事 小出泰司
学校教育課長 菊地智行
学校教育課学校教育グループ長 山永五香
学校教育課学校教育グループ主任 安藤 彬

株式会社地域計画建築研究所
チームマネージャー 間瀬高歩
チーフ 塗師木伸介
- 4 欠席
中部大学教職課程センター 教授 武者一弘
- 5 傍聴者 2名
- 6 議題

- (1) 令和5年度の検討概要について
- (2) 候補地の現状及び課題について
- (3) 学校施設改築のコンセプト（案）について

7 会議資料

- 資料1 令和5年度 豊山中学校改築基本（整備）計画策定フロー
- 資料2 豊山中学校改築候補地、豊山中学校改築候補地比較表
- 資料3 学校施設改築のコンセプト（案）

8 議事内容

【（1）令和5年度の検討概要について】

—資料1により事務局説明—

委員：事業手法というのはどういったものか。

事務局：目指すべき中学校のあり方の27ページで各手法についてまとめている。従来方式は設計と施工を分ける手法、DB方式は設計と施工を一括発注する手法である。PFI方式は維持管理業務等も併せて発注することが多い。リース方式は設計、施工、維持管理を一括発注するが、民間事業者が施設を所有し、町にリースで貸し出すという方式である。この中のいずれかの手法を今年度の計画の中で決めていきたいと考えている。

会長：税制措置や維持管理、工期の短縮等の視点から、民間への発注方式についていろいろな方法が出てきている。

委員：具体的な内容を検討していく中で会議は全3回で良いのかと感じる。委員は男性ばかりで、女性や子どもの意見をどこかのタイミングで聞く必要があるのではないか。例えば子ども会やPTA等で意見をもらうということも良いのではないか。また、豊山中学校の現校訓については基本コンセプト案に反映されるのか。

事務局：会議の回数については必要に応じて回数を増やすことを考えていきたい。意見聴取については令和3年度に町民アンケートや生徒及び教職員ヒアリング等をおこなっており、それらを取りまとめる段階と考えている。そのため、今年度意見聴取を実施する予定は無い。校訓についてはソフト面で反映しようかと考えていた。委員の皆様の意見をふまえ、検討していきたい。

委員：今後、必要であれば追加の意見聴取も検討頂きたい。より多くの方の意見を聞いてもらえると良い。

会長：今は多くの方の意見を聞くことが当たり前になっている。次の設計段階でも意見を聞く必要があるだろう。

委員：委員に女性がいないことについては違和感を感じていたため、発言させていた
だいた。

会長：ユーザーや女性等の意見を聞く方策を今後考えていきたい。

【（２）候補地の現状及び課題について】

—資料２により事務局説明—

委員：今年度中に候補地の決定をするとのことだが、場所によってどれほどの費用が
かかるか、比較検討できる資料は作成予定か。

事務局：コストについてはそれぞれの候補地について算出させていただき、次回会議に
は提示させていただく予定である。

委員：本日の参考資料にも金額の記載がある。より具体的なコストを出していただ
けると良い。

会長：本体工事だけではなく、造成もあると思うので費用に見込んで頂きたい。

副会長：コスト算出時には、導入時だけではなく、10年、20年先の大規模改修も見越
した費用の算出をしていただきたい。

会長：建物は建設すると80年利用することが基本だと思うが、その間の試算があると
良い。既存建築物の解体工事費も考慮していただきたい。

委員：これまでの計画策定のプロセスに対する認識が委員によって異なっていると思
う。これまでの経緯をご存じない方のために、なぜ今回の検討は中学校だけな
のか、大規模改修の話もあった旨や、既存の小学校との関係について等、事務
局でまとめて頂いたものがあると良いと感じた。当初から関わっている私たち
にとっても一度振り返ることは良いと思う。

事務局：長寿命化計画がこの事業のベースになっている。その中で豊山中学校、豊山小
学校については建築年数が経過しているので、改築を前提に進めていくことにな
っている。新栄小学校、志水小学校については大規模改修、長寿命化改修を
予定している。豊山中学校、豊山小学校は同時期に建設されているが、費用面
から改築を一度に行うことは難しいので、町内全域の生徒が通学する中学校か
ら事業を進める方向で検討している。概要としては以上であるが、改めて資料
としてまとめさせてほしい。

委員：候補地２、３になった場合は現豊山中学校はどのようにする予定か。

事務局：校舎と体育館棟があるが、校舎棟が古く、体育館棟は比較的新しいため、移転
改築した場合も体育館棟は大規模改修し、残すことを考えている。

委員：跡地についてはどのように考えているか。

事務局：跡地の活用については現段階で検討できてはいない。体育館棟をどのような形で改修するかは今後検討する必要はあるが、町のために活用する方向で利用したいと考えている。

会 長：残された体育館棟は中学生、町民のどちらが使用するイメージか。

事務局：どちらもあり得ると考えている。活用案ができた段階で提示させていただく予定である。

委 員：本会議は中学校についての検討の場であるが、移転した場合は跡地を豊山小学校の移転候補地ということも考えられるのではないか。

会 長：中学校に関する会議であるので、どこまで本会で検討することができるかはあ
るが、跡地もセットで検討する必要があるとのご指摘だと思うので、そういった視点についても検討に含めて頂きたい。

【（３）学校施設改築のコンセプト（案）について】

—資料３により事務局説明—

委 員：これまでコンセプトが無いことが気になっていた。コンセプトは建物や教育カリキュラムを検討される際に羅針盤となる。「つながり」というキーワードは良いと感じる。「学び合う」という言葉も大切である。「成長」と「のびのび」という言葉が重複している。「成長」のみで良いと思う。また「成長する」ではなく、自分たちで成長できるというニュアンスも欲しい。「つながり」「学び合い」というのはコトに関する内容であるため、今一番大切なのはモノである中学校の建物がどのようになるか、それをコンセプトで補う必要がある。「新しい時代の」では伝わらない。建物のイメージを一言で言える内容を設けてほしい。「創造する」は当たり前のことなので不要と感じる。コンセプトは短く、コトとモノの両方を短く表現する、ということ意識していただきたい。

事務局：みなさんに共通のイメージを持てるのが大切だと思うので次回は改善したものをお持ちしたい。場合によっては改築コンセプトとは別にデザインコンセプトというものを設けることも考えられる。

会 長：改築のコンセプトと記載があるが、これは改築のコンセプトなのかと感じた。教育の有り様を示すものと、改築に向けてどういうものをつくるか、もう少し具体化してデザインに関するもの等、今回コンセプトとして一言で言い表そうとしていることが何なのかを考える必要がある。学校の風格にかかわる部分はデザインに関するコンセプトの部分であるように思う。

委 員：「つながり、学び合い」ということを実現できる建築物がはっきりと見えな
いように感じる。

会 長：モノとコトを分けるというのはとても分かりやすい。建築でできることは限られているが、良い環境が教育を触発することもある。両輪でおこなうことが大切である。

教育長：教育機関としての学校と、避難所・社会教育施設としての公共施設としての学校施設は分けて考える必要がある。新たな学校をつくる際は、それらの機能を取り込んだ、多目的で多機能な建物がふさわしいと考える。教育機関としてはコトが重要で、公共物としてはモノという視点が大切だと感じている。そういった視点で整理していく必要がある。

会 長：本会は建物をどのようにするかが発端であるが、学校教育をどうするか、地域の人々がどのように支えるか等についても今後、議論していく必要がある。

委 員：目指す教育があって、それを実現したいという理想を掲げる必要がある一方、町民の税金を使う事業である。理想と現実は離れるものであると思う。用地によってできることは違うと感じる。本会は理想を検討したら良いのか、予算なども含めた現実も検討する必要があるのか、悩ましい。先生たちがつながることは大切であるが、そういったことが予算的に可能かどうかについて分かっておらず意見を出しづらい。

会 長：感じられたことは発言頂いた方が良いと思う。場所について明確にならない中、発言しづらい状況ではある。

委 員：他自治体ではプールの維持管理費が問題となることが多い。今回もプールをつくるかも含めて検討する必要がある。

会 長：プールについては教育委員会だけでは解決できない問題でもある。ただし、議論する場が他には無いので、感じられたことは発言頂いて良いと思う。

事務局：目指すべき中学校のあり方においては皆様に議論頂きまとめたが、今年度は事務局より具体的な案を示し、次回以降議論いただけると良いと考えている。コンセプトについては教育大綱や目指すべき中学校のあり方等を基にまとめさせていただいた。「つながり」については目指すべき中学校のあり方の中で先生方のコミュニケーションスペース等があると良いとのご意見があったことからそういった観点も含め、言葉として採用した。「学び合い」については、生涯学習の観点から、グラウンドや図書室を地域の方にも使ってもらい、生徒も含め学び合いができるような場所にした方が良いとの意見があったので言葉として採用している。「のびのびと成長する」という点については余裕をもった施設にするという観点からコンセプトに含めている。ご意見を頂いて、「新しい時代」という内容が弱いということも感じている。校訓も内容に含めるか検討したい。

委 員：場所が決まらないと議論を進めにくいという面がある。

会 長：場所が決まるとイメージもしやすくなる。一方、具体的な案であればあるほど意見も分かれると思うので早めの資料提示をお願いしたい。

委 員：21、22ページの「人としての可能性を伸ばす」の図についてはもう少し単純化した方が良いのではないかと思う。深まりが協調されすぎているように感じる。校訓についても指摘があったが、校訓は各校ともに「知・徳・体」で構成されている。本校の校訓は「創造・責任・健康」であるが、具体的に言葉を入れている校訓は少ない。改築コンセプトに「創造」という言葉が入っているのは良いと感じている。「新しい時代」という言葉からは多様性の時代をイメージした。一行目は「つながり、学びあい、成長」のようにシンプルに示すと良いと感じた。

委 員：中学校の建設に際して、教育施設であることが基本であるが、せっかくだから地域の方も使えた方が良いということであると思う。しかし、場所も予算も限られた場合、こういった優先順位で進めるかについても決めておいた方が良いと感じた。

委 員：理念と手段がコンセプトという言葉で上手く整理されていないと感じた。町の教育大綱は令和6年には改訂が必要、国の教育振興基本計画も今年度から実施されている中、理念としての教育大綱をふまえ、学校施設、コンセプトをどのようにしていくか、その流れを整理する必要がある。今回は手段としてのコンセプトのように感じた。校訓や教育大綱等の上位概念とつながる理念のようなものが必要と感じた。「つながり、学び合い、のびのび」という言葉が教育大綱を実現するための理念なのか、校舎建築としてのコンセプトなのか、分からなかった。もう少し整理されてわかりやすくなると良い。学校経営の分野では初めに理念があり、それを実現するための重点的な計画を示すことが多い。それをふまえると今回は理念としての教育を実現するための具体的なコンセプトになるのではないか。その場合、「つながり、学びあい、のびのび」がそれぞれどんな校舎づくりにつながるのかを表してもらえると良い。また、校訓が教育大綱とどのようにつながっているのかについても考える必要がある。上位に理念を示し、校舎建築のためのコンセプトを示す方が良いように感じる。

会 長：今の議論をふまえ、事務局で一度整理頂きたい。

事務局：資料3について2点補足事項がある。5ページに人口推移について示しているが、現在はコロナ禍の影響により当初の見込みより出生数が減少している。これまでの議論の前提とは少し変わっているため、人口統計を所管している部署と調整しながら、修正していきたい。18ページに歳出予測を示しているが、町北部の賑わい施設整備の予定が新たに出たため、修正が必要かと思う。目指す

べき中学校のあり方の更なる検討項目について検討し、計画を策定していきたい。

会 長：人口動向は規模を決める上で、重要なデータになるため、最新のデータでお願いしたい。

上記のとおり第9回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和5年 8月 7日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 篠 田 弘 男